

3 - 4 関東地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kanto District

国土地理院

Geographical Survey Institute

第 1 図は、東京原点から藤沢市にかけての路線における水準測量結果である。この路線では、ここ数年大きな変動はない。

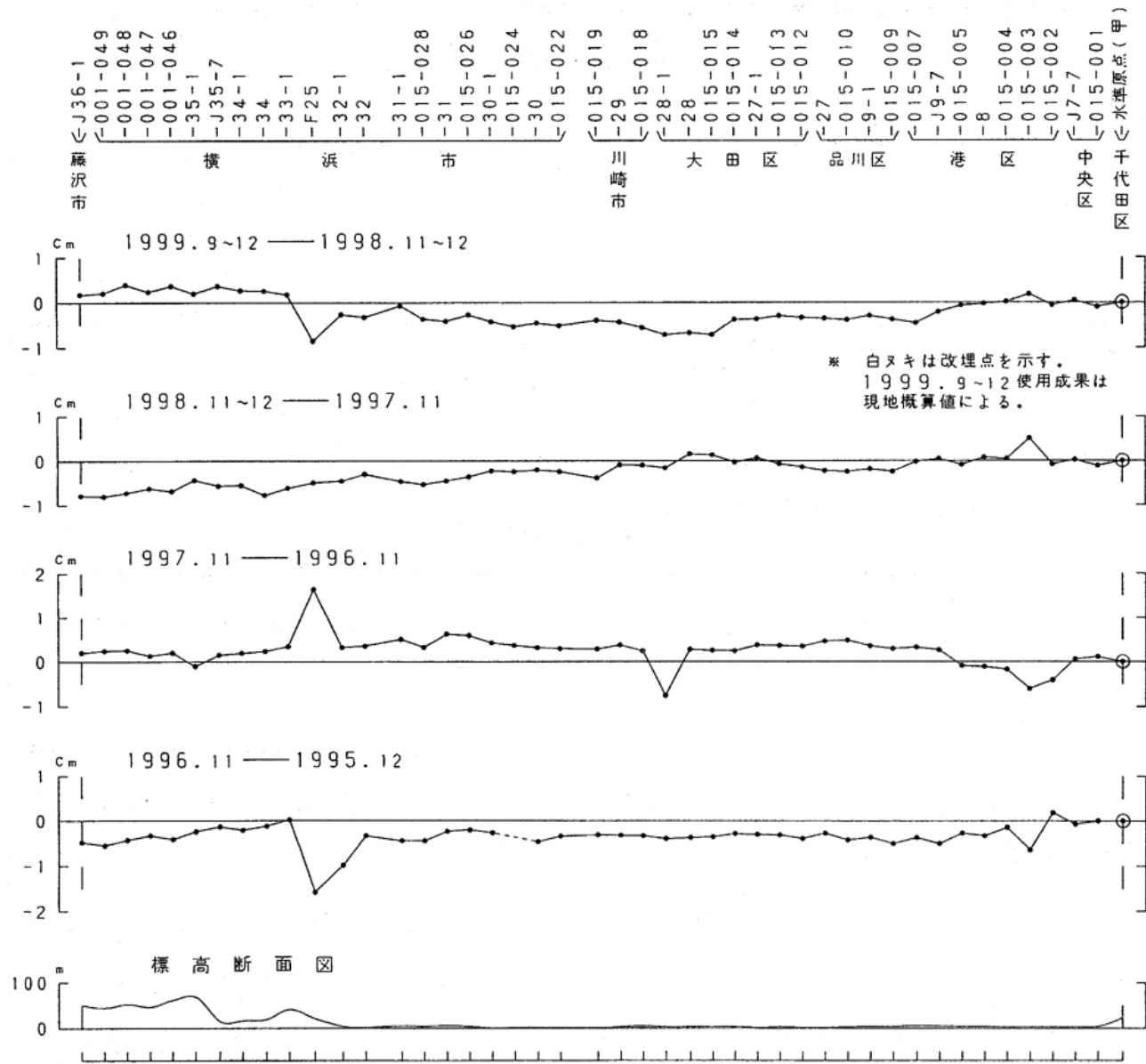
第 2 図および第 3 図は、水準原点を出発し、浦和市、越谷市、三郷市、市川市を経て船橋市に至る路線の水準測量結果である。最近の 1 年間で、特に大きな変動はない。

第 3 図は、船橋市から千葉市へ至る路線の水準測量結果である。最近の 1 年間で、特に大きな変動はない

第 4 図および第 5 図は、三浦半島の水準測量結果である。この 1 年間で大きな変動はない。また、第 6 図に示される三浦半島の経年的な沈降の様子も、最近特に傾向が変わった点は見られない。

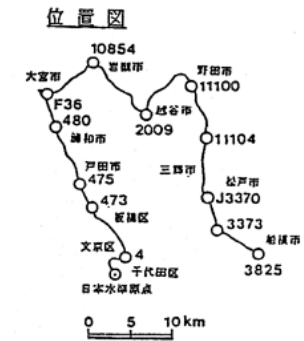
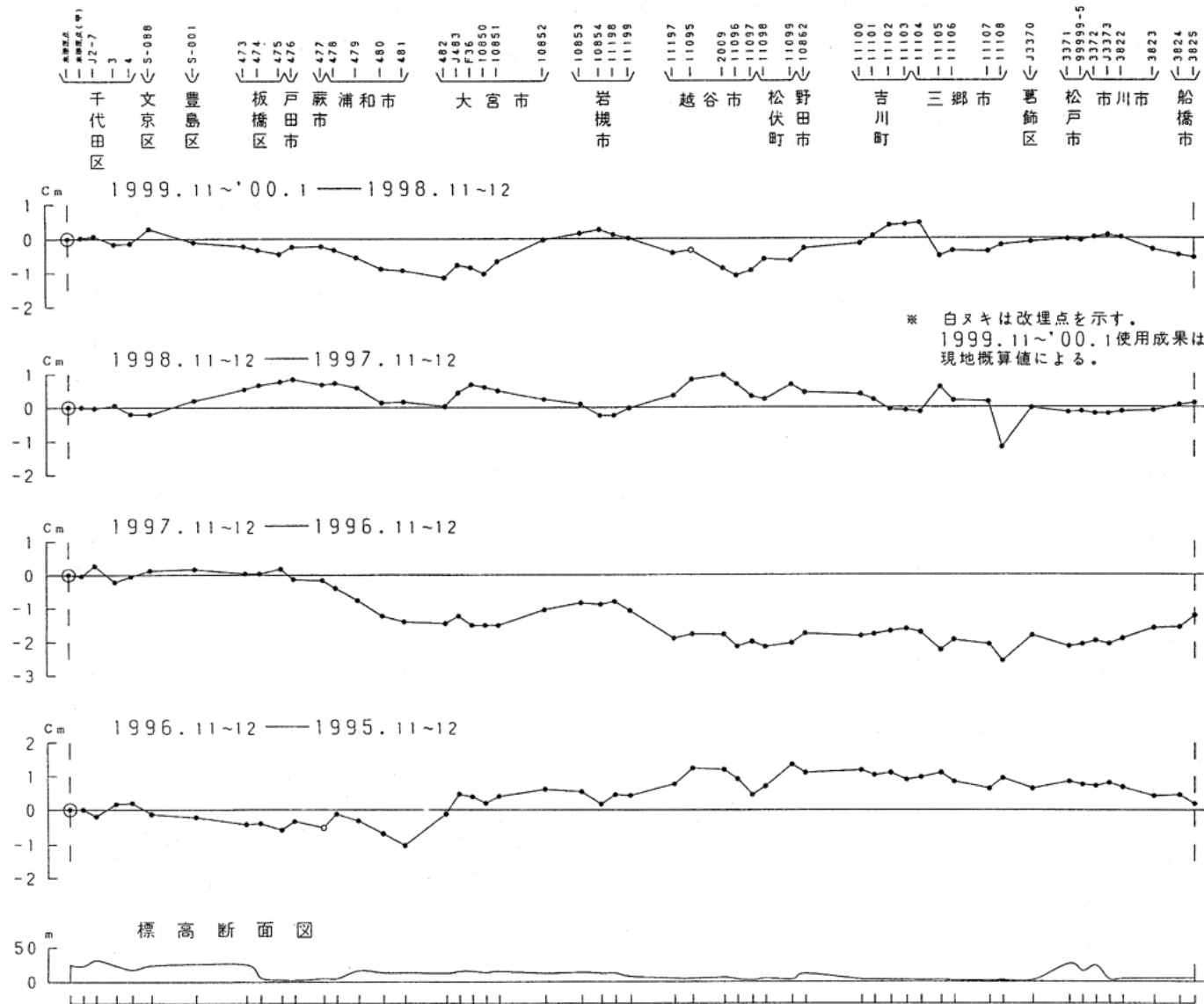
第 7 図は、関東地方の験潮場の月平均潮位差である。特に大きな傾向の変化は見られない。

第 8 図は、鹿野山精密辺長測量結果である。1995 年の破線で示す時点で鹿野山の器械点の場所が変更されており、データの継続性はないことに注意を要する。南北および北西 - 南東方向の基線はほぼ単調に縮んでいるが、東西基線は最近伸びに転じたように見える。原因はよくわからない。



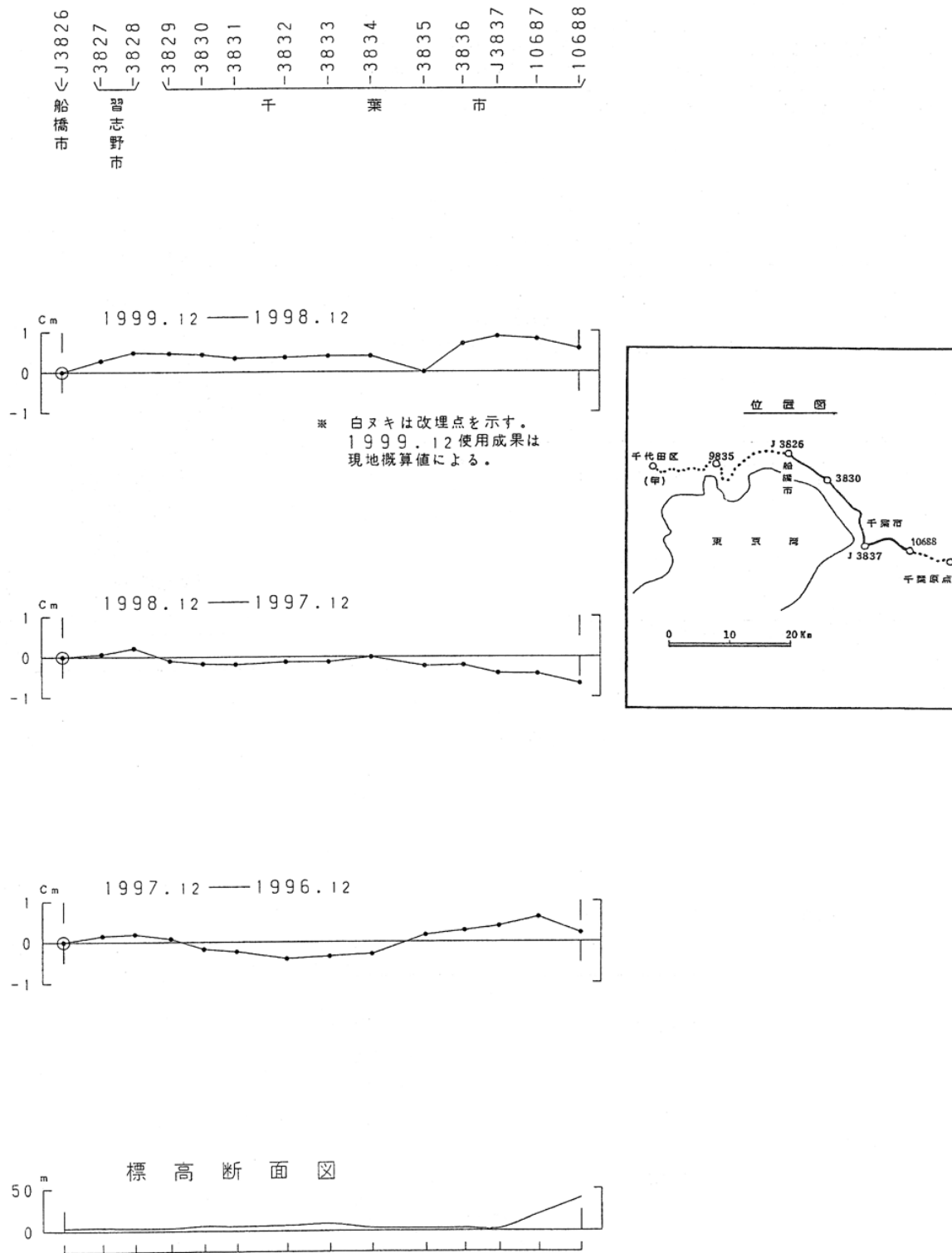
第1図 藤沢～水準原点(甲)間の上下変動

Fig.1 Results of precise leveling along the route between Fujisawa and Datum (Tokyo).



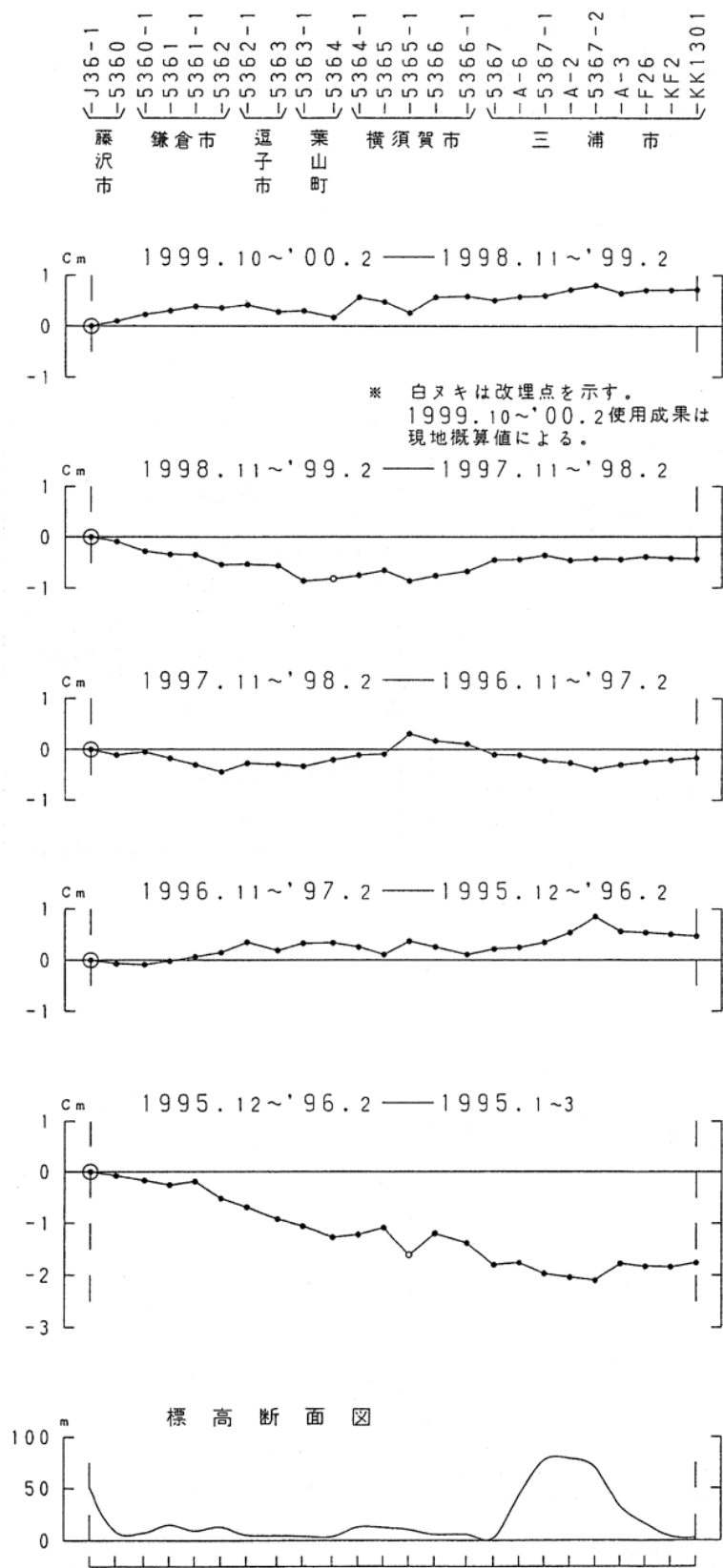
第2図 水準原点～大宮～野田～船橋間の上下変動

Fig. 2 Results of precise leveling along the route between Datum (Tokyo) and Funabashi through Oomiya and Noda.



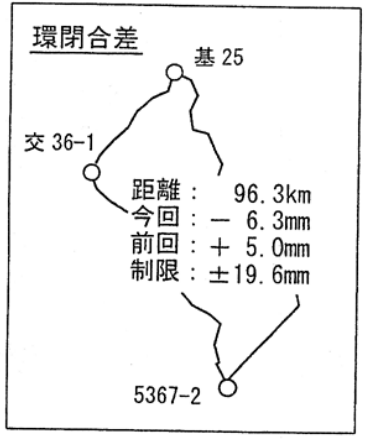
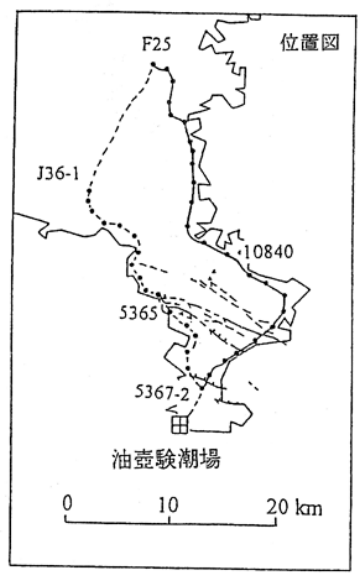
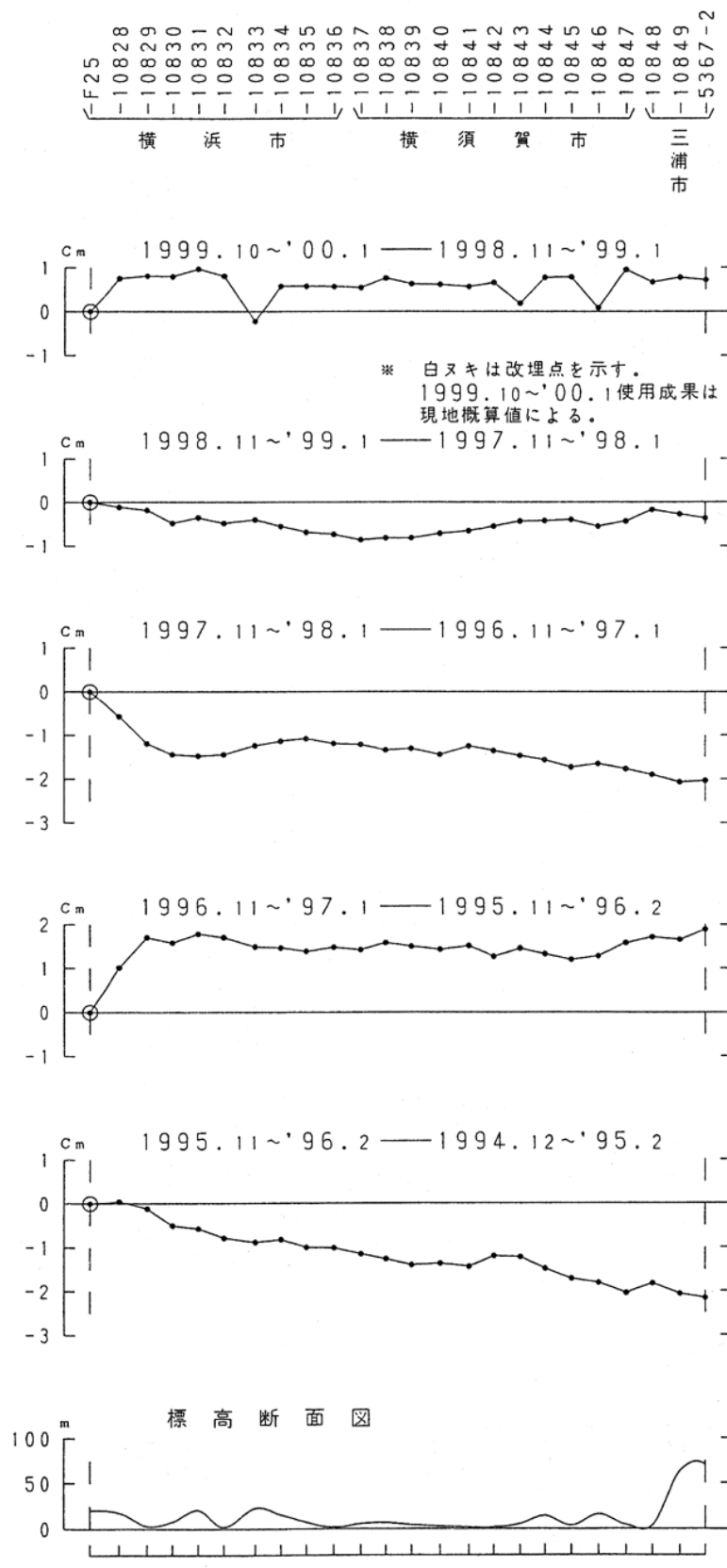
第3図 船橋市～千葉間の上下変動

Fig.3 Results of precise leveling along the route between Funabashi and Chiba.



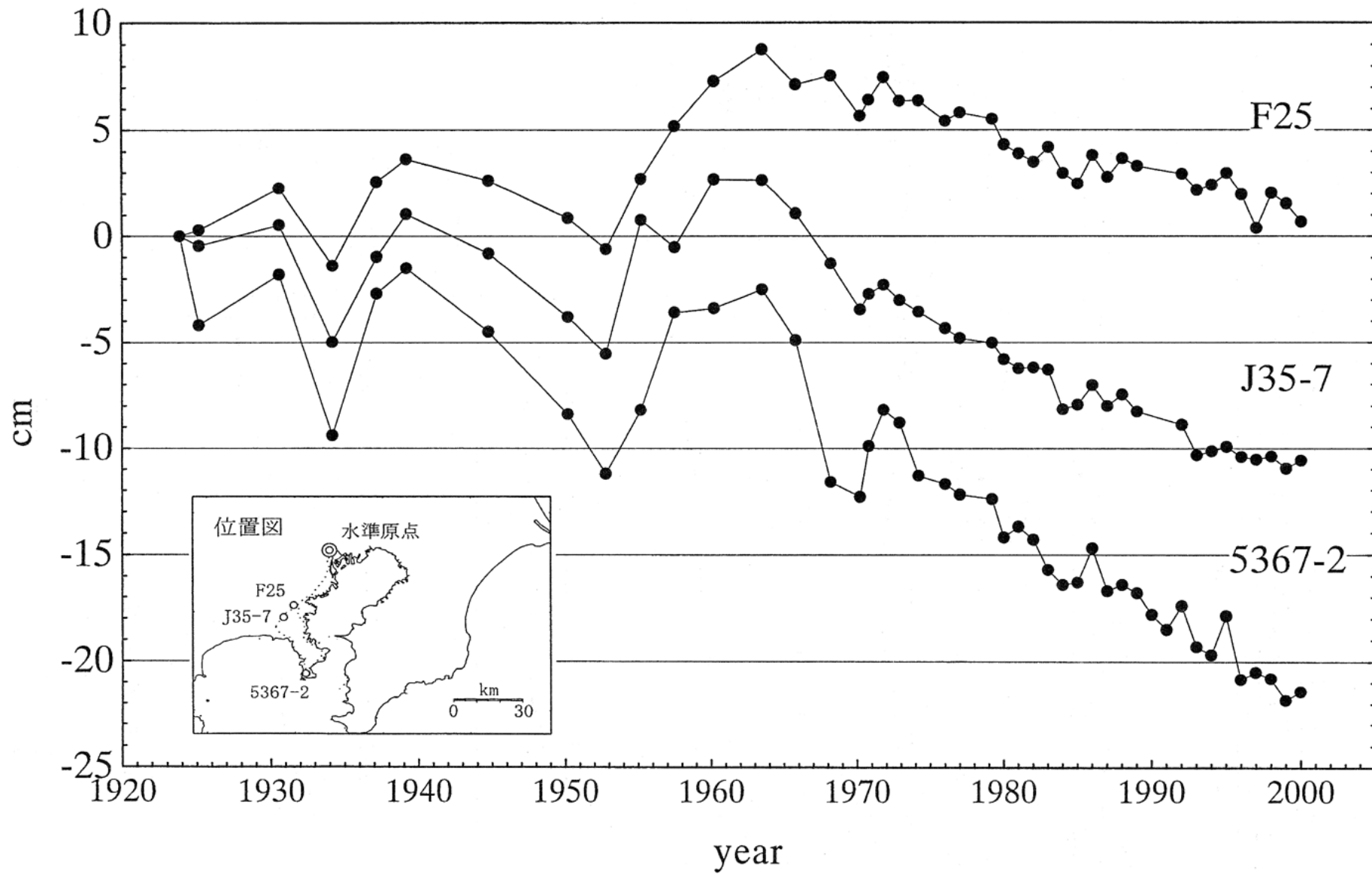
第4図 三浦半島の上下変動(その1)

Fig.4 Results of precise leveling in Miura Pneninsula (1 of 3).



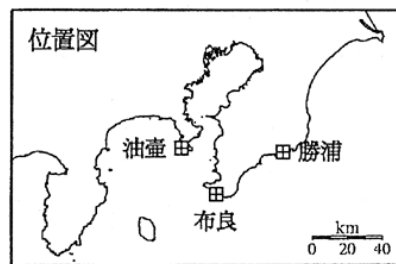
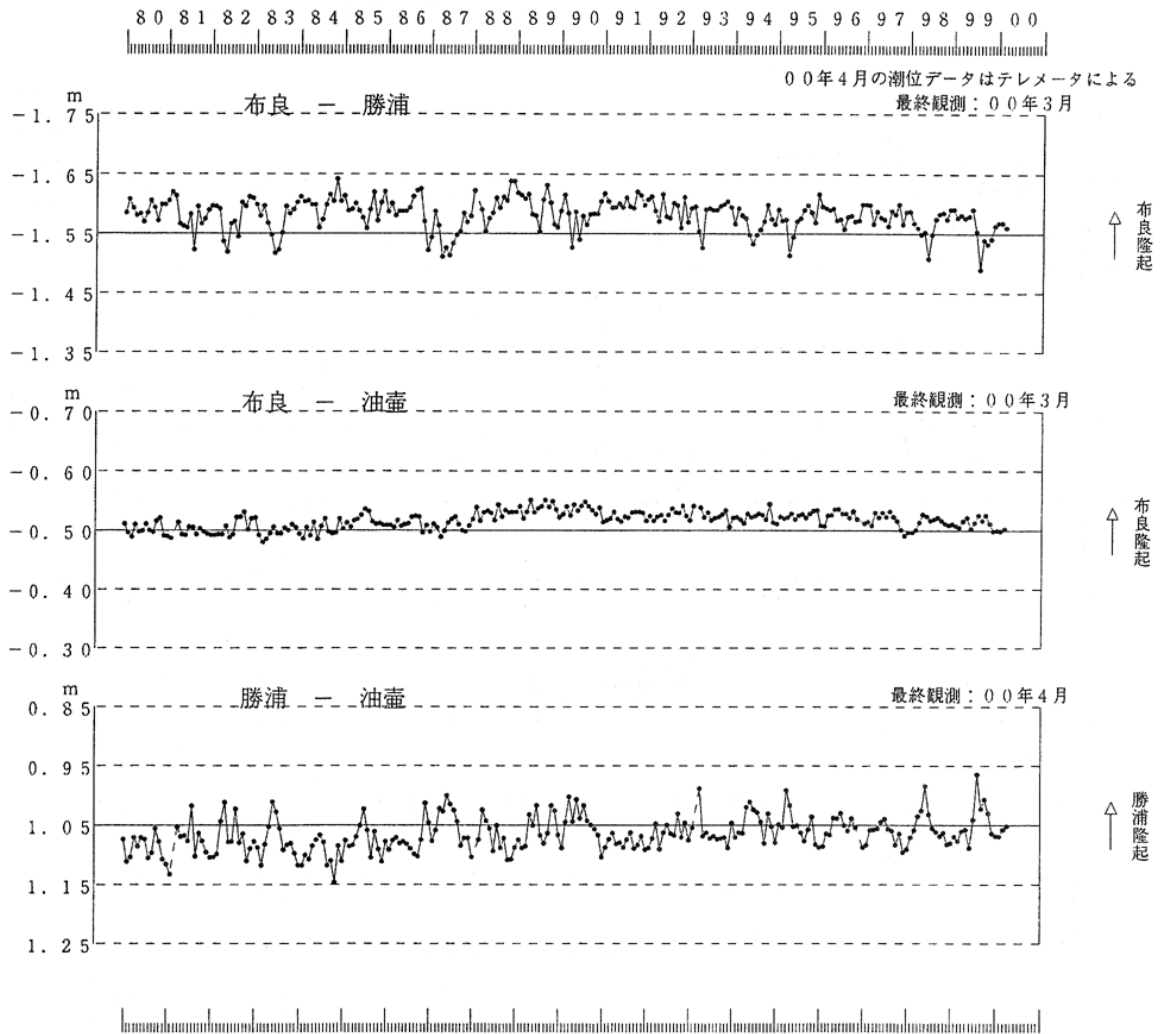
第5図 三浦半島の上下変動(その2)

Fig.5 Results of precise leveling in Miura Pneninsula (2 of 3).



第 6 図 三浦半島の上下変動 (その 3)

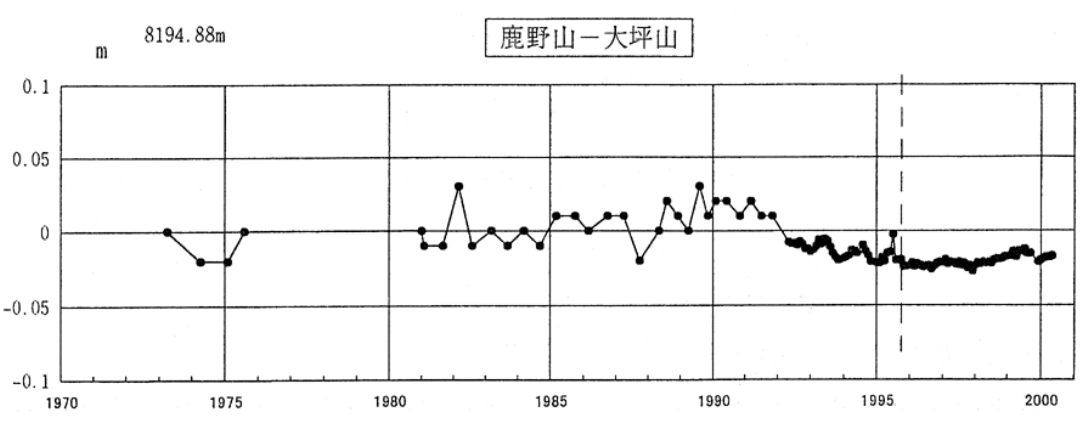
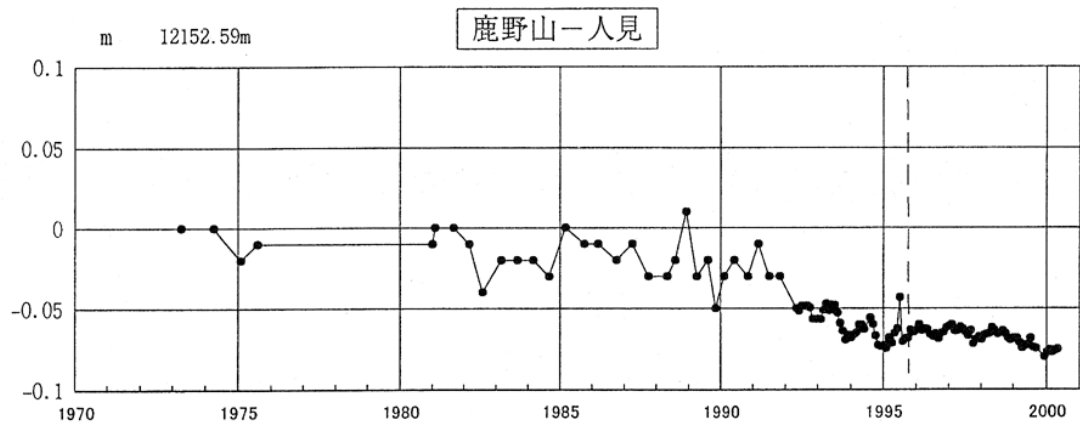
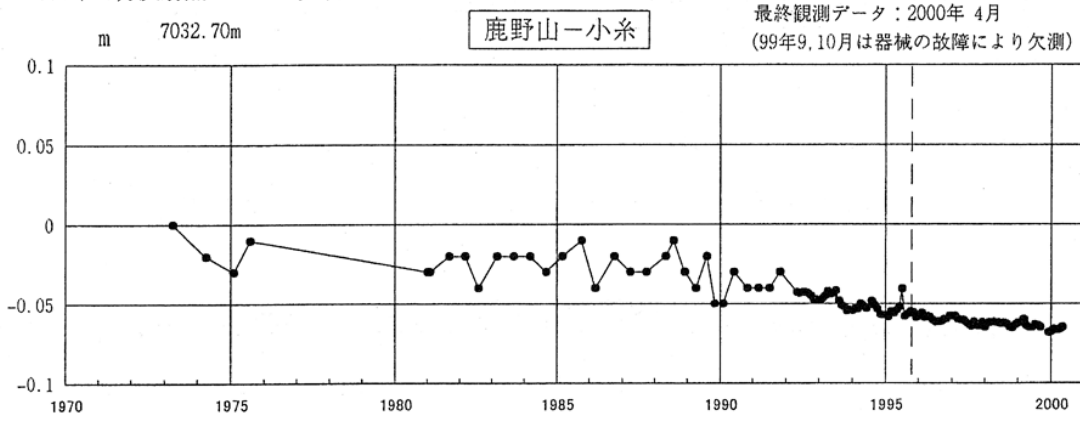
Fig.6 Results of precise leveling in Miura Pneninsula (3 of 3).



第7図 布良，勝浦，油壺各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 7 Differences of monthly mean values of sea level measured at 3 tide gauge stations in Kanto area.

1992年 4月からのデータは月平均値
 1995年10月から器械点移動
 2000年 3月反射点のミラー交換



第 8 図 鹿野山精密辺長連続観測結果

Fig.8 Results of precise distance measurements at Kanozan.